

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

「世界の『トビウ』 アジア留学生交流会 at SUENOBA」

～糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむし～

糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむしの山下利賀氏、安川綾子氏による家庭教育支援事業が平成30年8月22日（水）、須恵町のSUENOBAにて開催されました。

アジアの留学生との交流会を通して、「世界のことを知ることができる子どもたちを育てよう。」と親子で学ぶ機会としました。保護者10名、子ども20名が参加しました。ベトナムからの留学生のズインさん、スリランカからのヌワンさん、中国からのバインタナさんを講師として、様々な活動を行いました。

母国語での絵本読み聞かせでは、中国語とフィンランド語での「くだもの」の言い方を比べました。また、スリランカ語による「犬がいっぱい」、ベトナム語による「かぞく」の言い方の紹介もありました。言葉は分からなくても、先に日本語で読み聞かせをすることで、言葉の響きや雰囲気を感じながらイメージすることができました。

留学生とのゲームでは、「背中にひらがなを書く伝言ゲーム」と「国歌の紹介」がありました。最後のおやつタイムでは、おやつをもらう時に、留学生の母国語のアジアの言葉で「ありがとう」と伝え、留学生とのコミュニケーションを通してお互いの距離を縮めていきました。

参加した子どもたちは、自分の名前を、アジアの複数の言葉でサインしてもらった紙を宝物のように持って帰っていました。また、保護者の方も、「これを機会にして、日常のニュース等で世界のことに関心を持ってもらうために親として話題にしていこう。」と話してありました。

